

オンライン授業評価のコメント、授業改善目標（応用教育） 2021 年度

科目名	コメント	授業改善目標
科目 I_3	本年度から開講された科目ですが、担当したクラスはアットホームな雰囲気で、楽しく授業を進めることができました。 共通の資料を用いて授業を進めましたが、一部非常に難易度の高い内容も混じっていて、そのため十分な満足は得られませんでした、ある程度は理解してもらい、満足してもらえたと思います。	次年度はこの科目を担当しませんが、「データサイエンス」は今後の世の中を生き抜くうえで必要不可欠な科目です。 我々も、教育内容を精査していきますが、みなさんも真摯に学んでほしいと思います。
科目 W_2	受講者は少数でしたので、想定通りの結果でした。	次年度は、学生の興味をより引き出せるよう、より対話をしながら進めていきたいと思っています。
科目 X_2	受講者が1名でしたので、想定通りでした。	次年度は、卒論を進めるスケジュールをより明確にしていきたいと思っています。
科目 I_1	満足度は肯定的な評価が多かったものの、どちらともいえないという評価が3割余りあり、自由記述では評価が分かれた。 この科目は、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）・応用教育プログラムの対象科目となっているため、Society5.0 社会を迎えるにあたり、重要な科目なので、是非積極的に学んでほしい。	初年度の科目であったこともあり、演習が多く、説明時間も少なくなりがちだったため、次年度は、演習の量を抑え、解説の時間を長くとするよう努めたい。
科目 I_2	満足度は肯定的な評価が多かったものの、どちらともいえないという評価が4割余りあり、自由記述では評価が分かれた。 この科目は、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）・応用教育プログラムの対象科目となっているため、Society5.0 社会を迎えるにあたり、重要な科目なので、是非積極的に学んでほしい。	初年度の科目であったこともあり、演習が多く、説明時間も少なくなりがちだったため、次年度は、演習の量を抑え、解説の時間を長くとするよう努めたい。
科目 I_7	満足度は肯定的な評価のみであったが、「大変満足」が3分の1にとどまったため、この割合を上げるよう努めていきたい。 この科目は、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）・応用教育プログラムの対象科目となっているため、Society5.0 社会を迎えるにあたり、重要な科目なので、是非積極的に学んでほしい。	自由記述も肯定的な内容ばかりであったが、難しく感じる人もいるかも知れないとのコメントをいただいたので、より分かりやすい解説を目指していきたい。
科目 T	満足度は肯定的な評価が多かったものの、どちらともいえないという評価が2割弱あった。自由記述では、肯定的な意見がほとんどであったが、否定的な意見の方は、グループでの協働に問題があるようであった。 この科目は、数理・データサイエンス・AI 応用教育プログラムの対象科目となっているため、Society5.0 社会を迎えるにあたり、重要な科目なので、是非積極的に学んでほしい。	グループでの議論が中心となる授業のため、大きな学びを得た方が多かったようで、このスタイルは続けていきたいと思うものの、グループの協働がうまくいかない場合、十分機能しないこともあるようなので、班替えをこれまで以上に導入するなど、改善に努めていきたい。
科目 W_3	私の周知不足もあり、回答者が少なくなりました。肯定的な評価となったものの、自由記述がなかった。 この科目は、数理・データサイエンス・AI 応用教育プログラムの対象科目となっているため、Society5.0 社会を迎えるにあたり、重要な科目なので、是非積極的に学んでほしい。	自由記述がなかったので、意見について不明な部分は多いが、ゼミであり、卒業研究という大学の学びの集大成につながる科目なので、今後も、話し合いの時間を十分にとり、最も適した学びの場を提供していきたい。

科目 O	授業の満足度、分かりやすさが、ともに「どちらともいえない」が半数となり、今後の改善が必要であると強く感じた。 この科目は、数理・データサイエンス・AI 応用教育プログラムの対象科目となっているため、Society5.0 社会を迎えるにあたり、重要な科目なので、是非積極的に学んでほしい。	この科目は、数理・データサイエンス・AI 応用教育プログラムの基礎をなす数学を学ぶ科目で、標記プログラムには不可欠の科目であるが、初学者には難しい内容も含まれるため、十分な復習の時間が必要になる。今後は、より内容を厳選し、レベルを下げずに分かりやすい授業内容となるよう、工夫していきたい。
科目 A	概ね肯定的な評価であり、自由記述でも肯定的な意見が多かったものの、話ばかりなので大事などころが分かりにくい等の改善すべき点のご指摘もいただいたので、改善に努めていきたい。 この科目は、数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）・応用教育プログラムの対象科目となっていて、現在進行中の社会変化（第4次産業革命、Society 5.0、データ駆動型社会等）に深く寄与しているものであり、それが自らの生活と密接に結びついているということ、「社会で活用されているデータ」や「データの活用領域」は非常に広範囲であって、日常生活や社会の課題を解決する有用なツールになり得るものであること、様々なデータ利活用の現場におけるデータ利活用がみられ、様々な適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出するものであること、活用に応じた様々な留意事項（ELSI、個人情報、データ倫理、AI 社会原則等）を考慮し、情報セキュリティや情報漏洩等、データを守る上での留意事項への理解を深めること、を学ぶ重要な科目なので、是非積極的に学んでほしい。	より双方向的な授業となるよう、工夫していきたい。
科目 Q	授業内容としては難易度の高い部類に入る本講義ですが、満足度や分かりやすさの評価が比較的高い結果が得られたのは良かったです。 しかしながら、数名は否定的な評価でしたので、より一層引き締めて本授業により組みたいです。	視聴覚教材の利用に関しては問題が無かったようですので、同様の方法に加えさらに改善をしていきたいと考えます。 また、学生たちが時間外に充てた時間が少ないことが改善点の1つですので、よりいっそう授業の仕方を見直していく必要があると思います。
科目 W_4	履修者は4名でしたので、全員に目が届いたのが肯定的評価に繋がっていると思います。 本講義は専門ゼミⅡに繋がっていきますので、より学生とのコミュニケーションを密にしていけたらと考えています。	対面での指導だけでなく、もっとオンラインシステムを用いて時間外でも指導を行えるようなしくみや方法が必要であると感じています。 今後は、さまざまな LMS 等も活用して小さな点も改善できるよう努力したい。
科目 X_3	履修者は5名でしたので、全員とのコミュニケーションがうまくできていたための肯定的評価だと考えます。	学生たちの満足度をより挙げられるよう、指導の改善に努めたいと考えています。 さらに、情報システムの効果的な使い方を模索し、今後に生かしていきたいと思います。
科目 I_4	全体的な評価としては肯定的でしたが、否定的評価をした学生が居ないわけではありませんでしたので、色々と改善すべき点もあったと思います。また、他のクラスとの共通教材であったため、教え方を他教員ともしっかりと打ち合わせておくべきだったと思います。	内容としては、データサイエンスの基本的な部分であり、主に統計学の基礎でもありましたので数学系を不得手とする学生への対応が難しかったため、今後はどのように指導するかを他教員と協議していく必要があると感じられた。
科目 I_5	授業でのわかりやすさや教材の活用、自身の成長、授業満足について大多数の受講生が肯定的な評価をしていた。4名の教員で協力して立ち上げ	データサイエンスの基礎知識はこれからの時代に欠かせないものです。今後もこれまでのわかりやすさを維持しつつも、最先端の情報を取り入れ

	た新科目であったがこのように学生に評価されたことはとても嬉しく思います。また、この授業を進めたいかという質問についても多くの人が勧めたいと回答してくれていました。全学必修の科目ですが、今後も満足度の高い授業としていきたいと思っています。この科目は数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの対象科目となっています。様々なデータ利活用と様々な適用領域の知見を組み合わせることで価値を創出することを学ぶ従業な科目です。ぜひ積極的に学んで下さい。	て授業を改善していきたいと考えます。自由記述の中で、授業中の質問への対応について肯定的なコメントがいくつかありました。引き続き丁寧な学生対応を心がけていきます。
科目 I_6	授業でのわかりやすさや教材の活用、自身の成長、授業満足について大多数の受講生が肯定的な評価をしていた。4名の教員で協力して立ち上げた新科目であったがこのように学生に評価されたことはとても嬉しく思います。また、この授業を進めたいかという質問についても多くの人が勧めたいと回答してくれていました。全学必修の科目ですが、今後も満足度の高い授業としていきたいと思っています。この科目は数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの対象科目となっています。様々なデータ利活用と様々な適用領域の知見を組み合わせることで価値を創出することを学ぶ従業な科目です。ぜひ積極的に学んで下さい。	データサイエンスの基礎知識はこれからの時代に欠かせないものです。今後もこれまでのわかりやすさを維持しつつも、最先端の情報を取り入れて授業を改善していきたいと考えます。各回の復習が次の回への積み重ねになることに気付いてコメントを記入してくれていた人がいました、その通りです。今後の受講生の皆さんにも積み重ねに気付いて貰えるような授業をしていきたいと思っています。自由記述の中で、授業中の質問への対応について肯定的なコメントがいくつかありました。引き続き丁寧な学生対応を心がけていきます。
科目 R	受講生の 80%以上が授業のわかりやすさ、教材の活用、自身の成長について肯定的な評価をしていていました。しかしながら授業の満足度や授業の勧奨度は 70 数%でした。 不満足は 0 名、「勧めたくない」は 1 名であったので、おもに「どちらでもない」の人たちの評価を引き上げていく必要があります。勧めたくないを選んだ学生はプログラミングが苦痛だったのにもかかわらず最終回まで頑張って受講したことが素晴らしいと感じました。できればまたチャレンジしてくればもう少しわかりやすくなるかと思っています。 なかなか大学生の予復習をさせるような授業を作るのは難しいのですが、この授業では 20%以上の人が 1 時間以上の時間外学習をしていていました。ありがとうございます。この科目は数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの対象科目となっています。様々なデータ利活用と様々な適用領域の知見を組み合わせることで価値を創出することを学ぶ従業な科目です。ぜひ積極的に学んで下さい。	この学期はビデオ会議を用いた遠隔授業として行いました。受講生によっては進行ペースに苦労した人もいたかと思います。授業をする側としてもプログラミングなどの得手不得手が大きく出る授業では苦労します。受講生がそれぞれのペースで受講していけるような授業方法を考えます。自由記述の中で、授業中の質問への対応について肯定的なコメントがいくつかありました。引き続き丁寧な学生対応を心がけていきます。
科目 P	受講生の 90%以上が授業のわかりやすさ、教材の活用、自身の成長において肯定的な評価をしていていました。また、授業の満足度や授業のオススメ度でも 80%以上の学生が高評価をしていていました。完全オンデマンドの授業でしたが、自由記述のコメントなどを見ると動画教材や作成した資料のわかりやすさが高評価に繋がったようです。この科目は数理・データサイエンス・	コンピュータは現代社会とは切っても切り離せないものです。皆さんがコンピュータに使われるのではなく、コンピュータを使う人間でいられるような知識のみにつく授業を作ります。次の学期は対面での授業となりますが、一層わかりやすい資料と授業を展開します。

	AI 教育プログラムの対象科目となっています。様々なデータ利活用と様々な適用領域の知見を組み合わせることで価値を創出することを学ぶ従業な科目です。ぜひ積極的に学んで下さい。	
科目 V	教材の活用や自身の成長について受講生の約 90% が肯定的な評価、授業のわかりやすさは 80% 台、授業の満足度が 75% でした。授業のオススメ度は 65% でした。 なかなか大学生の予復習をさせるような授業を作るのは難しいのですが、この授業では 20% 以上の人が 1 時間以上の時間外学習をしていていました。ありがとうございます。反面、授業の課題が多かったというコメントと低評価を残してくれた学生も居ましたが、大学の授業なのでしっかりと課題をこなしながら知識・技術を身につけていきましょう。 この科目は数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの対象科目となっています。様々なデータ利活用や情報表現によって価値を創出することを学ぶ従業な科目です。ぜひ積極的に学んで下さい。	コーディングの演習の多い授業ということで学生による得手不得手がどちらでもないや不満足、勧めたくないに繋がっていたようです。こういった学生にもわかりやすくなるような補助教材などの作成をしていきたいと考えます。 受講していて、課題が多すぎると感じる学生がいたら相談して欲しいと思います。本当に極端に多すぎるようであるなら、受講生の皆さんと相談しながらちょうど良い量を模索したいと思います。
科目 W_5	いずれの評価項目においても 100% の受講生が肯定的な評価をしていていました。 この科目は数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの対象科目となっています。様々なデータ利活用と様々な適用領域の知見を組み合わせることで価値を創出することを学ぶ従業な科目です。ぜひ積極的に学んで下さい。	引き続きゼミ生 1 人 1 人の研究と将来を見据えた指導を続けていきます。
科目 U	「視聴覚資料が効果的に使用されていたか」という質問項目では「効果的に使用されていた」が 100% でした。また、「講義の説明はわかりやすかったですか」、「この講義を履修して成長したと思いますか」という質問項目については、肯定的な回答が両方とも 85.7% でした。「内容が面白かった」「グループ活動が楽しかった」というコメントが寄せられた反面、満足度の割合が 64.3% であった点は、学生の期待する講義と教員の意図との乖離があったものと思われます。 本講義は、数理・データサイエンス・AI 教育プログラムの対象科目となっており、社会におけるデータの利活用事例や適用領域（流通、製造、金融、サービス、インフラ、公共、ヘルスケア等）の知見と組み合わせることで価値を創出する科目です。積極的に学んでください。	肯定的な評価があった点は継続しつつ、学生が満足できる講義となるよう、受講生の興味・関心などを確認しながら、改善していきたい。
科目 H	86% の学生が理解し、80% の学生が満足しているということで、ほとんどの受講生が情報倫理とセキュリティの基礎知識を楽しく習得することができたのではないかと自負している。 また、93% の学生が補助教材（この講義では映像資料を多用した）の効果を実感してくれたことも良かったと考える。	学生コメントから必要と考えられる改善点は、以下の通り。専門的な理論などは、そもそも興味のない学生、理解できれば面白いと感じるだろうと考える学生にはハードルが高い。いかに興味を喚起するか。いかに炉階を促進させるか、これは自分ごととして実感できる具体例や体験（演習）を増やすことで解決ができるのではないかと考える。